

狭山市立入間野小学校防球ネット設置工事

図面番号	図名	縮尺(A1判)
A-00	表紙・図面リスト	N S
A-01	特記仕様書(その1)	N S
A-02	特記仕様書(その2)	N S
A-03	特記仕様書(その3)	N S
A-04	特記仕様書(その4)	N S
A-05	特記仕様書(その5)	N S
A-06	特記仕様書(その6)	N S
A-07	案内図、配置図	1/500
A-08	仮設計画図、仮囲い詳細図、土質柱状図	1/400、1/30
A-09	校庭平面図(工事前)	1/150
A-10	校庭平面図(工事後)	1/150
A-11	防球ネット立面図	1/150
A-12	H10m 防球ネット詳細図	1/50
A-13	植込み縁石詳細図・鉄棒詳細図	1/20、1/10、1/50
A-14	花壇縁石詳細図	1/20、1/10

2 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 (9.3.2、3)(表9.3.1~9.3.3)			
	種類	施工箇所	断熱材 (G)	防湿層
3 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 (9.4.2~4)(表9.4.1~3)			
	種類	施工箇所	絶縁用シートの材質	仕上塗料
4 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3)(表9.5.1~2)			
	種類	施工箇所	仕上塗料	保護層
5 ケイ酸系塗布防水	防水層の種類 (9.6.1、3、4)(表9.6.1、2)			
	種類	施工箇所	種類	施工箇所

6 シーリング	下表以外は、標準仕様書9.7.1による (9.7.2、3、5)(表9.7.1)			
7 防水工事施工業	※設置する(ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) (2.1.2)			
	1 施工	石材の割付け 図示 (10.1.3、5)		
10 石工	天然石 (10.2.1、3)(表10.2.1、2)			
	2 石材等	天然石 (10.2.1、3)(表10.2.1、2)		
3 外壁湿式工	受金物 (10.2.2、3)(10.3.2、3)			
	4 内壁空積工	受金物 (10.2.2、3)(10.4.2、3)		
5 乾式工	取付け方式 (10.2.2、3)(10.5.2、3)(表10.2.4)			
	6 床及び階床の石張り	床石張りの裏面処理 (10.6.2、3)		

7 アーチ、上げ裏等の石張り	取付け工法 (10.2.2)(10.7.1、2)			
8 笠木、甲板等の石張り	取付け工法 (10.2.2)(10.7.1、3)			
	ファスナーの形状 (10.2.2)(10.7.1、3)			
11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)(表11.1.1)			
	2 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、3、7)			
12 木工	1 表面仕上げ (12.1.4)			
	2 製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)			

3 造作用集成材	「製材の日本農林規格」以外の製材 (12.2.1)				
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	含水率
4 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (12.2.1)				
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	表面の品質 (化粧加工の有無)	含水率
5 合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (12.2.1)				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	板面の品質	単板の樹種名

Table with 4 columns: 1. 仕様 (Specifications) including material types like 鋼板, パーティクルボード, MDF, and construction methods. 2. 仕様 (Specifications) for 14 金属工 (Metal Work) including stainless steel, aluminum, and iron treatments. 3. 仕様 (Specifications) for 15 左官工 (Plastering Work) including underlayment, mortar, and plastering. 4. 仕様 (Specifications) for 16 建具工 (Furniture Work) including door and window hardware.

Table with 4 columns: 1. 仕様 (Specifications) for 17 木製建具 (Wooden Furniture) including materials, finishes, and hardware. 2. 仕様 (Specifications) for 18 屋根及びとい工事 (Roofing and Waterproofing Work) including materials, construction methods, and waterproofing. 3. 仕様 (Specifications) for 19 断熱工 (Insulation Work) including materials, construction methods, and thermal performance. 4. 仕様 (Specifications) for 20 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance.

Table with 4 columns: 1. 仕様 (Specifications) for 21 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance. 2. 仕様 (Specifications) for 22 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance. 3. 仕様 (Specifications) for 23 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance. 4. 仕様 (Specifications) for 24 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance.

Table with 4 columns: 1. 仕様 (Specifications) for 25 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance. 2. 仕様 (Specifications) for 26 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance. 3. 仕様 (Specifications) for 27 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance. 4. 仕様 (Specifications) for 28 防音工 (Soundproofing Work) including materials, construction methods, and soundproofing performance.

18 ガラス (16.14.2~4) (表16.14.1)
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。
板ガラスの品種 厚さの呼びによる種類 ※建具表による 図示
型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による 図示
網入り板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ※建具表による 図示

19 ガラスブロック (16.14.5)
表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 乳白 平積み 曲面積み 仲縮調整 目地(mm) 防火性能
・125×125 80 目地幅(mm) 外側 ※15以下 内側 ※6以上

17 カーテンウォール工事 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)
1 取付方法、性能等
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパドル方式

2 メタルカーテンウォール (17.2.2, 3, 5)
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
金属材料の種類
・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材
(アルミニウム材の場合)
規格等 ※標準仕様書16.2.3による

18 塗装工事 (18.1.3)
1 材料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・仕上による

17 カーテンウォール工事 (18.3.2, 3)
3 錆止め塗料塗り
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパドル方式

18 塗装工事 (18.4.1~18.14.2)
4 塗装
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパドル方式

3 PCカーテンウォール (17.3.2~5) (表17.3.1, 2)
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
材料
コンクリート 種類 品質
設計基準強度 (Fc) ※30N/mm2
スランプ ※12cm
気乾単位容積質量 ※普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下

19 内装工事
1 接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
図示

8 合成樹脂床
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
(19.4.2, 3) (表19.4.4~8)
種類 施工箇所 工法 仕上げの種類

9 フローリング張り
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
(19.5.2~6) (表19.5.1~6)
※規制対象外
単層フローリング
フローリングボード1等

10 畳敷き
種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ランフロム)

11 セッコボード、その他のボード及び合板張り
適用は以下によるほか図示による。
合板類、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外

12 壁紙張り
壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
(19.8.2, 3)
施工箇所 壁紙の種類 防火種別 備考

13 断熱材
断熱材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
断熱材打込み工法
種類 厚さ(mm) 施工箇所

14 断熱材 (19.9.2, 3)
断熱材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
断熱材打込み工法
種類 厚さ(mm) 施工箇所

20 ユニット及びその他工事	1	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア及び表面仕上材 (20.2.2)
		フリーアクセスフロアの試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(d)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(c)による	
	2	可動間仕切	パネル材のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外 (20.2.3)
		パネル材のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外	
	3	移動間仕切	パネル内に取付ける建具・あり(※図示)・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
		パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 図示	
	4	トイレブース	パネル材料のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外 (20.2.5)
		パネル材料のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外	
	5	階段滑り止め	材質・ステンレス製 アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状・ひも型・タイヤ型 材質・ゴム・合成樹脂 取付け方法 ※接着工法・埋め込み工法 幅 mm 端部フラットエンド・あり・なし
	6	手すり	材質・集成材 表面仕上げ・FRP 径(mm)・35・45 取付箇所・HL 材質・EP-G・SOP ビニル製ハンドル
	7	黒板及びホワイトボード	黒板 区分 ※焼き付け 種類 ※ほうろう・鋼製 色 ※緑 ホワイトボード ()
	8	鏡	取付箇所 () 寸法(mm) ※図示 厚さ(mm) ※5
	9	表示	衝突防止表示 形状(※丸形・図示) 寸法(※30φ) 材質(ステンレス製) 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
10	煙突ライニング	煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度・400℃・650℃	
11	ブラインド	スラットの材質 アルミスラット 焼付塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合()とする	
12	ロールスクリーン	操作方法・スプリング式・コード式・電動式 幅、高さ・図示 材質・ガラス繊維製・合成天然繊維製・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による	
13	カーテン	形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 シングル・片引き・手引き・フラスひだ ダブル・引分け・ひも引き・電動 電動 片ひだ、つまひだ アレンひだ、片ひだ	
		ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、()とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上	

14	カーテンレール	材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 (20.2.14) 強さによる区分 ※10-90 仕上り ※アルマイト 形状 ※角形
15	ブラインドボックス及びカーテンボックス	薄型×深さ(mm)・90×150・120×80・120×150・150×80・図示 材質・集成材(仕上げ) アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種類(標準仕様書表14.2.1)・BC-1種・BC-2種 色合い・標準色()・特注色() 鋼製(仕上げ)
16	天井点検口	材質・アルミニウム製 寸法・450×450 形式・一般形 外枠・屋内外用 内枠・隠線タイプ ・目地タイプ
17	床点検口	材質・アルミニウム製 寸法・450×450 形式・一般形 外枠・屋内外用 内枠・隠線タイプ ・目地タイプ
18	耐震スリット	方向・垂直方向 タイプ・※完全(全貫通型) 耐火性能・耐火型 防水性能・非耐火型 備考
19	止水版	形式・差込式・据置式・壁張り式 施工箇所・図示
20	エキスパンションジョイント金物	材質・アルミニウム製 クリアランス(mm)・50・100 耐火性能・有り() 備考
21	くつふきマット	材質・強化ビニル又はゴム製 受け枠・ステンレス製(SUS304) 備考
22	流し台ユニット	材質・アルミニウム合金製 寸法(mm)・W・D・H 備考
23	旗竿	材質・アルミニウム合金製 形式・テーパー式 高さ(m)・同一断面式 操作方法・ハンドル式 固定方法・埋込式 備考
24	旗竿受金物	材質・ステンレス製(SUS304)
25	車止めさく	形式 材質・標準品 径、肉厚(mm) 高さ(mm)
26	フェンス	フェンスの種類 高さ 補強鉄線の径及び網目寸法() コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度 ※図示 ※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 図示 取付け方法 ※図示
27	プレキャストコンクリート	補強鉄線の径及び網目寸法() コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度 ※図示 ※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 図示 取付け方法 ※図示
28	間知石及びコンクリート間知ブロック積み	材質・間知石 種類・花こう岩 質量区分・A・B 備考
29	鋼製書架及び物品棚	種類・鋼製書架 規格等・JIS S 1039の規格による JISによる種類 1種・2種・3種 4種・5種・6種
30	屋内掲示版	枠の材質・アルミニウム製 表面の材質・※塩ビ発泡シート張り

31	洗面カウンター	材質・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 奥行き(mm)・約450・約600
32	防煙垂れ壁	固定式 材質・厚さ(mm)・高さ(mm) 備考 ※入り層板ガラス ※6.8 ※入り層板ガラス ※500 アルミ製枠付き
33	屋外掲示板	可動式 種類・垂直降下式(巻取り型) 材質・鋼板製又はアルミ製 高さ(mm)・500・800 備考 ガイドレール ※固定式(壁埋込型) 可動式(天井収納型)
34	収納家具	材質、形状、寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外
21	排水工事	材料 (21.2.1、2)(表21.2.1、2)
		管の種類 形状 呼び径 備考 遮心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管(1種) B形管 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管 VP ※図示 VU ※図示 RS-VU ※図示 RS-VU ※図示
2	舗装製ふた	種類 適用荷重 備考 水封形 簡易密閉形(パッキン式) 密閉形(テーパ・パッキン式) 中ふた付き密閉形(テーパ・パッキン式) RS-VU ※図示
3	グレーティング	種類 適用荷重 備考 鋼製 形式 用途 適用荷重 備考 受枠付き、ボルト固定 溝ふた(横断用) 溝ふた(側溝用) 樹ふた用 U字溝用
4	街きよ、縁石、側溝	種類 形状、寸法 縁石 L形側溝 U形側溝 U形側溝ふた 地業の材料 シルト 山砂 川砂 砕砂 砂利地業に用いる材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利地業の厚さ ※100(mm) 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm ² 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A 凍上抑制層の厚さ 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 行方 行わない 埋戻し土 ※標準仕様書表3.2.1(※B種)

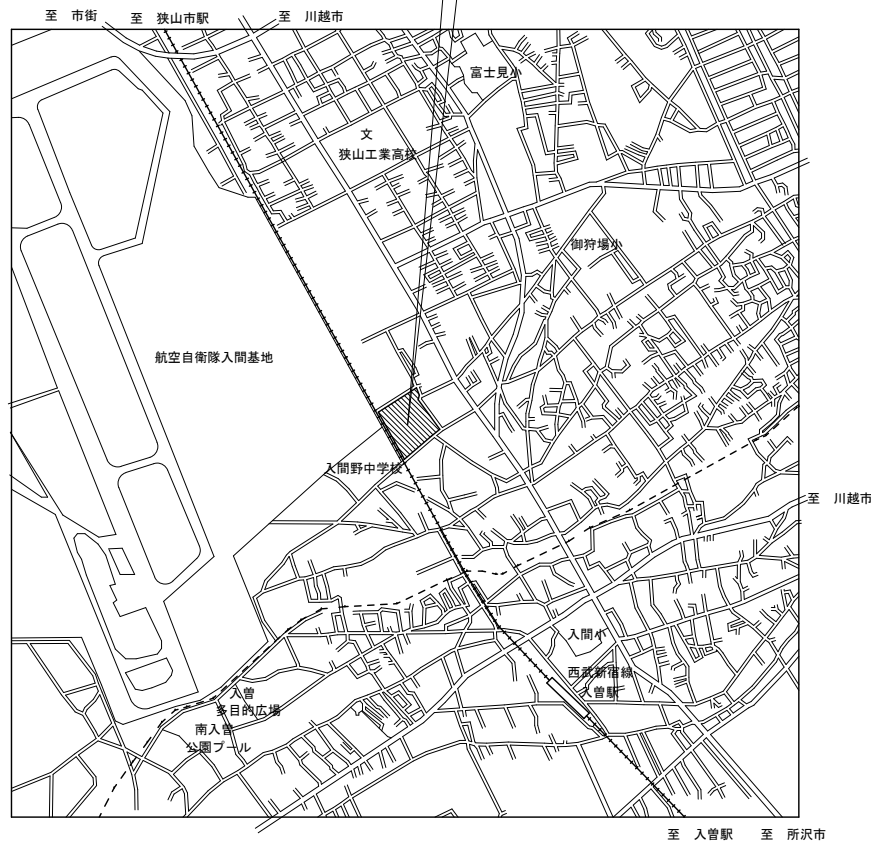
22	舗装工事	路床の材料 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)
1	路床	種類 盛土 凍上抑制層 フィルター層 路床安定処理 安定処理の方法 安定処理工法 置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 生石灰(・特号・1号) 消石灰(・特号・1号) 固化材(・セメント系・石灰系) 添加量 kg/m ³ (目標CBR・3以上) 路床置換処理 置換厚さ 置換材料の種類、品質 不織布(ジオテキスタイル) 単位面積質量 60g/m ² 以上 厚さ(mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5×10 ⁻¹ cm/sec以下
2	路盤	路盤の構成及び厚さ 図示 路盤材料 (22.3.2、3)(表22.3.1)
		種類 砕石 再生材 クラッシュラン 粒度調整砕石 クラッシュラン 粒度調整砕石 クラッシュラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
3	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.4.2~6)(表22.4.1、4) 材料及び種類 アスファルト 再生アスファルト(・60~80・80~100) 骨材 ストリートアスファルト 道路用砕石 アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類(配合は標準仕様書表22.4.4による) 密粒度アスファルト混合物(13) 細粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) 粗粒度アスファルト混合物(20) シールコートの施工 行方 行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 行方 行わない 舗装の平坦化 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
4	コンクリート舗装	構成及び厚さ (22.5.2~4)(表22.5.1~3) 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート版 車路、駐車場 ※図示 歩行者用通路 ※図示 150 200 70
		繊維立下り寸法等 図示 材料 コンクリート 普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による 普通コンクリートではない場合は下記による コンクリートの種類 設計基準強度 ※8 所定のスランブ 粗骨材の最大寸法 早強ポルトランドセメント 使用しない 使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ 高弾性タイプ アスファルト乳剤 プライムコート(1.5L/m ²) 溶接金網 敷設位置 ※コタート版厚150mmの場合は、1/2程度の位置とする ※コタート版厚200mmの場合は、表面から1/3程度の位置とする 図示 目地 種類 ※標準仕様書表22.5.3による 間隔 ※標準仕様書表22.5.3による m程度ごと 構造 ※標準仕様書表22.5.1による 図示 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
5	カラー舗装	加熱系カラー舗装 ※図示 構成及び厚さ 加熱系混合物の結合材 アスファルト混合物 石油樹脂系混合物 顔料の添加量() 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 着色骨材() 自然石() 常温系カラー舗装 工法 ニート工法 塗布工法 着色部の下部 アスファルト舗装 コンクリート舗装 配合その他 図示
6	透水性舗装	透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 材料 骨材 道路用砕石 アスファルトコンクリート再生骨材 G (表22.4.1) (種類・60~80・80~100) 区分 種類 部位 厚さ(mm) 表層 ポーラスアスファルト 車路、駐車場 50 開粒度アスファルト 歩行者用通路 30 透水性コンクリート 70 透水性インターロッキングブロック 車路、駐車場 80 敷砂層 砂 車路、駐車場 60 歩行者用通路 20 30 フィルター層 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量6%以下) 100 アスファルト乳剤(プライムコート)の施工は行わない。

7 半たわみ性舗装	・透水性アスファルト舗装 G ・ポラスアスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13) 配合(表22.7.1)																												
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">ふるいの呼び名</th> <th colspan="2">ふるいの通過質量百分率(%)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> <tr> <td>19mm</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2mm</td> <td>90~100</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>4.75mm</td> <td>11~35</td> <td>20~36</td> </tr> <tr> <td>2.36mm</td> <td>10~20</td> <td>12~25</td> </tr> <tr> <td>300μm</td> <td>—</td> <td>5~13</td> </tr> <tr> <td>75μm</td> <td>3~7</td> <td>3~6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト(%)</td> <td>4~6</td> <td>3.5~5.5</td> </tr> </table>	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19mm	100	100	13.2mm	90~100	95~100	4.75mm	11~35	20~36	2.36mm	10~20	12~25	300μm	—	5~13	75μm	3~7	3~6	アスファルト(%)	4~6	3.5~5.5		
	ふるいの呼び名		ふるいの通過質量百分率(%)																										
		車路、駐車場	歩行者用通路																										
	19mm	100	100																										
	13.2mm	90~100	95~100																										
	4.75mm	11~35	20~36																										
	2.36mm	10~20	12~25																										
	300μm	—	5~13																										
	75μm	3~7	3~6																										
アスファルト(%)	4~6	3.5~5.5																											
基準値(表22.7.2)																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基準値</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> <tr> <td>最大粒径(mm)</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安定度(kN)</td> <td>3.43以上</td> <td>3.0以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td>—</td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>20程度</td> <td>12以上</td> </tr> <tr> <td>動的安定度(回/mm)</td> <td>3,000以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>透水係数(cm/s)</td> <td>—</td> <td>1×10⁻²以上</td> </tr> </table>	項目	基準値		車路、駐車場	歩行者用通路	最大粒径(mm)	13	—	安定度(kN)	3.43以上	3.0以上	フロー値(1/100cm)	—	20~40	空隙率(%)	20程度	12以上	動的安定度(回/mm)	3,000以上	—	透水係数(cm/s)	—	1×10 ⁻² 以上						
項目		基準値																											
	車路、駐車場	歩行者用通路																											
最大粒径(mm)	13	—																											
安定度(kN)	3.43以上	3.0以上																											
フロー値(1/100cm)	—	20~40																											
空隙率(%)	20程度	12以上																											
動的安定度(回/mm)	3,000以上	—																											
透水係数(cm/s)	—	1×10 ⁻² 以上																											
試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない ・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・図示 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの																													
・透水性コンクリート舗装 (22.5.2~4、6) コンクリート舗装に対する基準値																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基準値</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> <tr> <td>最大粒径(mm)</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>20以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>透水係数(cm/s)</td> <td>—</td> <td>1×10⁻²以上</td> </tr> <tr> <td>目地の間隔</td> <td>—</td> <td>版厚の20倍程度</td> </tr> </table>	項目	基準値		車路、駐車場	歩行者用通路	最大粒径(mm)	13	—	空隙率(%)	20以上	—	透水係数(cm/s)	—	1×10 ⁻² 以上	目地の間隔	—	版厚の20倍程度												
項目		基準値																											
	車路、駐車場	歩行者用通路																											
最大粒径(mm)	13	—																											
空隙率(%)	20以上	—																											
透水係数(cm/s)	—	1×10 ⁻² 以上																											
目地の間隔	—	版厚の20倍程度																											
構成、厚さはコンクリート舗装による ・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・図示																													
・透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による																													
・透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による																													
半たわみ性舗装(車路、駐車場)の構成及び厚さ ※図示 (22.3.2、3、5)(表22.3.1)																													
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>半たわみ性舗装用アスファルト混合物1型(13)</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>再生粗粒度アスファルト混合物(20)</td> <td>40</td> </tr> </table>	区分	種類	厚さ(mm)	表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物1型(13)	40	基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40																				
区分	種類	厚さ(mm)																											
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物1型(13)	40																											
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40																											
試験 半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない																													
材料 浸透用セメントミルクの標準的な性状																													
<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>性状</th> <th>試験方法</th> </tr> <tr> <td>フロー値(プロット)砂</td> <td>10~14</td> <td>舗装調査・試験法便覧(C041)</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度(7日養生)MPa</td> <td>9.8~29.4</td> <td>JIS R 5201</td> </tr> <tr> <td>曲げ強度(7日養生)MPa</td> <td>2.0以上</td> <td>舗装調査・試験法便覧(C042)</td> </tr> </table>	項目	性状	試験方法	フロー値(プロット)砂	10~14	舗装調査・試験法便覧(C041)	圧縮強度(7日養生)MPa	9.8~29.4	JIS R 5201	曲げ強度(7日養生)MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧(C042)																	
項目	性状	試験方法																											
フロー値(プロット)砂	10~14	舗装調査・試験法便覧(C041)																											
圧縮強度(7日養生)MPa	9.8~29.4	JIS R 5201																											
曲げ強度(7日養生)MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧(C042)																											
配合 半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">ふるいの呼び名</th> <th colspan="2">ふるいの通過質量百分率(%)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> <tr> <td>19.0 mm</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2 mm</td> <td>95~100</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>4.75 mm</td> <td>10~35</td> <td>20~36</td> </tr> <tr> <td>2.36 mm</td> <td>5~22</td> <td>12~25</td> </tr> <tr> <td>600 μm</td> <td>—</td> <td>4~12</td> </tr> <tr> <td>300 μm</td> <td>—</td> <td>3~12</td> </tr> <tr> <td>75 μm</td> <td>—</td> <td>1~6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト量(%)</td> <td>3~4.5</td> <td>3.5~5.5</td> </tr> </table>	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19.0 mm	100	100	13.2 mm	95~100	95~100	4.75 mm	10~35	20~36	2.36 mm	5~22	12~25	600 μm	—	4~12	300 μm	—	3~12	75 μm	—	1~6	アスファルト量(%)	3~4.5	3.5~5.5
ふるいの呼び名		ふるいの通過質量百分率(%)																											
	車路、駐車場	歩行者用通路																											
19.0 mm	100	100																											
13.2 mm	95~100	95~100																											
4.75 mm	10~35	20~36																											
2.36 mm	5~22	12~25																											
600 μm	—	4~12																											
300 μm	—	3~12																											
75 μm	—	1~6																											
アスファルト量(%)	3~4.5	3.5~5.5																											
半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマッシュル安定度試験に対する基準値																													
<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> <tr> <td>密度(g/cm³)</td> <td>1.9以上</td> </tr> <tr> <td>安定度(kN)</td> <td>2.94以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>20~28</td> </tr> <tr> <td>突固め回数(回)</td> <td>50</td> </tr> </table>	項目	基準値	密度(g/cm ³)	1.9以上	安定度(kN)	2.94以上	フロー値(1/100cm)	20~40	空隙率(%)	20~28	突固め回数(回)	50																	
項目	基準値																												
密度(g/cm ³)	1.9以上																												
安定度(kN)	2.94以上																												
フロー値(1/100cm)	20~40																												
空隙率(%)	20~28																												
突固め回数(回)	50																												
施工 アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。 浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。 (1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサーによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。 (2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラー等により行う。 (3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、砕砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対応するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。 (4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。																													
<table border="1"> <tr> <th>セメントミルクの種類</th> <th>養生期間</th> </tr> <tr> <td>普通タイプ</td> <td>約3日</td> </tr> <tr> <td>早強タイプ</td> <td>約1日</td> </tr> <tr> <td>超速硬タイプ</td> <td>約3時間</td> </tr> </table>	セメントミルクの種類	養生期間	普通タイプ	約3日	早強タイプ	約1日	超速硬タイプ	約3時間																					
セメントミルクの種類	養生期間																												
普通タイプ	約3日																												
早強タイプ	約1日																												
超速硬タイプ	約3時間																												
(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。																													
試験 締固め度 標準仕様書22.4.2(2)による 舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(3)による 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度																													
弾性舗装(歩行者用通路)の構成及び厚さ (22.4.2~6)(表22.4.2~6) ※図示																													
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>弾性舗装材</td> <td>15~20</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>再生粗粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>30</td> </tr> </table>	区分	種類	厚さ(mm)	表層	弾性舗装材	15~20	基層	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	30																				
区分	種類	厚さ(mm)																											
表層	弾性舗装材	15~20																											
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(13)	30																											
加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による																													

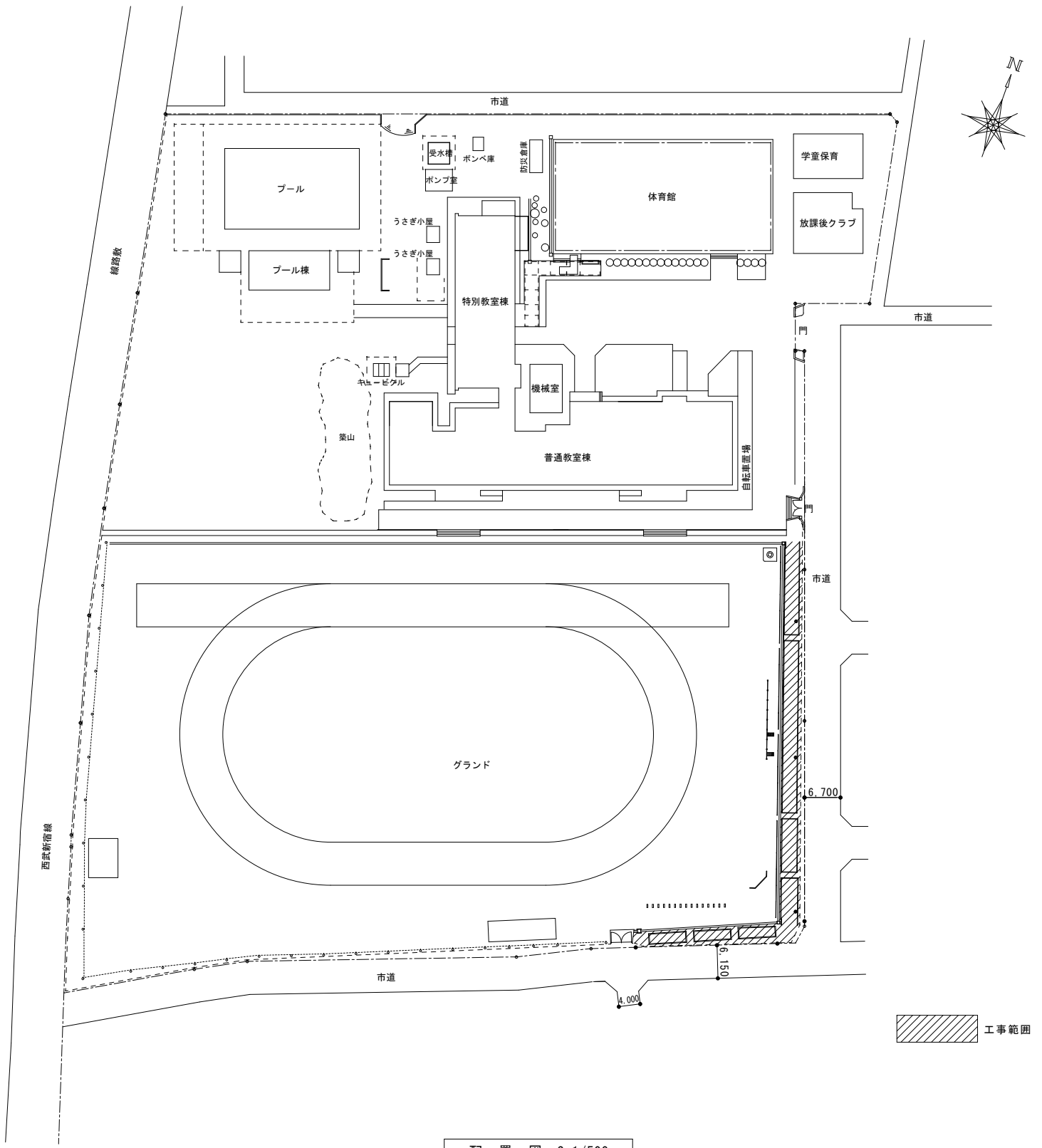
9 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (歩行者用通路)の構成及び厚さ (22.8.2、3) ※図示																																										
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N) ・透水性平板(P) ・保水性平板(M)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂 ・モルタル</td> <td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> <tr> <td>数砂層</td> <td>・砂 ・空練りモルタル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	※普通平板(N) ・透水性平板(P) ・保水性平板(M)	※300角	※60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	数砂層	・砂 ・空練りモルタル																														
	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																						
	※普通平板(N) ・透水性平板(P) ・保水性平板(M)	※300角	※60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																						
	数砂層	・砂 ・空練りモルタル																																									
	クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。																																										
	・インターロッキングブロック舗装 (歩行者用通路)の構成及び厚さ ※図示																																										
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>曲げ強度(N/mm²)</th> <th>横断面勾配</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td> <td>車路、駐車場</td> <td>・図示</td> <td>80</td> <td>5.0以上</td> <td>2%</td> <td>砂</td> <td>色彩、表面加工 ・標準品</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>60</td> <td>3.0以上</td> <td>1.5~2%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路、駐車場	・図示	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示	60	3.0以上	1.5~2%																				
	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考																																			
	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路、駐車場	・図示	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品																																			
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示	60	3.0以上	1.5~2%																																						
歩行者用通路に使用する普通ブロックは (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。																																											
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">数砂層</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>20</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>・歩行者用通路</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td></td> <td>100</td> <td>川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td> </tr> </table>	区分	部位	厚さ(mm)	種類	数砂層	・車路、駐車場	20	砂	・歩行者用通路	30		フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)																												
区分	部位	厚さ(mm)	種類																																								
数砂層	・車路、駐車場	20	砂																																								
	・歩行者用通路	30																																									
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)																																								
・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※図示 単位面積質量 ・敷砂層と路盤の間に敷設 ・フィルター層と路床の間に敷設 単位面積質量 ・60g/m ² 程度 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻³ cm/sec以上 舗装の割付(車路、駐車場) ・ヘリンボンポンド(45°) ・ヘリンボンポンド(90°) 仕上り面の平坦性 ※走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。																																											
・鋪石舗装(歩行者用通路)の構成及び厚さ ※図示																																											
<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※花こう岩</td> <td>・割石・図示</td> <td>・</td> <td>・うるこ張り</td> <td>・コンクリート版 ・7x7x7mm混合物</td> <td>※70 ※50</td> </tr> </table>	種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)	※花こう岩	・割石・図示	・	・うるこ張り	・コンクリート版 ・7x7x7mm混合物	※70 ※50																															
種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)																																						
※花こう岩	・割石・図示	・	・うるこ張り	・コンクリート版 ・7x7x7mm混合物	※70 ※50																																						
目地材 ※モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、鋪石間の段差は3mm以内とする。																																											
10 砂利敷き																																											
11 路面標示用塗料																																											
23 植栽及び屋上緑化工事																																											
1 植栽地の確認等 (23.1.3) 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ・行わない																																											
② 植栽基盤の整備 (23.2.2~4)																																											
<table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・樹木</td> <td>※A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・葉蔭り部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>(※100・120・150)</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>(※80・100)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m以上~7m未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(※60・80)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(※50・60)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉蔭り部分	・適用する	・B種	(※100・120・150)	・植栽部分	・適用しない	・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示		・D種	(※80・100)						樹高3m以上~7m未満					(※60・80)					樹高3m未満					(※50・60)		
植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材																																							
・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉蔭り部分	・適用する																																							
	・B種	(※100・120・150)	・植栽部分	・適用しない																																							
	・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示																																								
・D種	(※80・100)																																										
		樹高3m以上~7m未満																																									
		(※60・80)																																									
		樹高3m未満																																									
		(※50・60)																																									
植栽基盤の排水設備 ・設ける(※図示) ・設けない 植込み用土 ・適用する(・現場発生土の良質土) ・客土 ・適用しない																																											
土壌改良材 ・適用する ・適用しない ・バーク堆肥 (図示) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・50L) () ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) (図示) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・10L) ()																																											
材料 [金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令]の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする。																																											
3 樹木 樹種、寸法、株立数等 ※図示 (23.3.2)																																											

4 支柱	支柱材 ※丸太(間伐材) (図示) ・真竹 (23.3.2、3) 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示							
	5 幹巻き用材料 (23.3.2)							
	6 芝 (23.4.2、3)							
	7 吹付けは種 (23.4.2)							
	8 地被類 (23.4.2)							
	9 新植、移植樹木、芝等の枯植償 (23.3.4、6)(23.4.7)							
	10 屋上緑化 (23.5.2~4)							
	支柱材 ※丸太(間伐材) (図示) ・真竹 (23.3.2、3) 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示							
	材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)							
	種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23.4.2、3) 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り							
<table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量(g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類(採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量(g/m ²)	備考	※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上		
種子の種類	発芽率	種子の量(g/m ²)	備考					
※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上							
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">樹種</th> <th colspan="2">単位面積当たりのコンテナ数</th> <th rowspan="2">芽立数</th> </tr> <tr> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> </tr> </table>	樹種	単位面積当たりのコンテナ数		芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数		
樹種		単位面積当たりのコンテナ数			芽立数			
	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数						
新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯植償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯植償を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し								
植栽基盤及び材料 (23.5.2~4) 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ:) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示								
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 支柱 ・設置する(形式・図示) () かん水装置 ・設置する(種類・) ()								

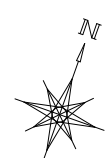
工事場所 狭山市立入間野小学校
狭山市大字北入曾980番地



案内図

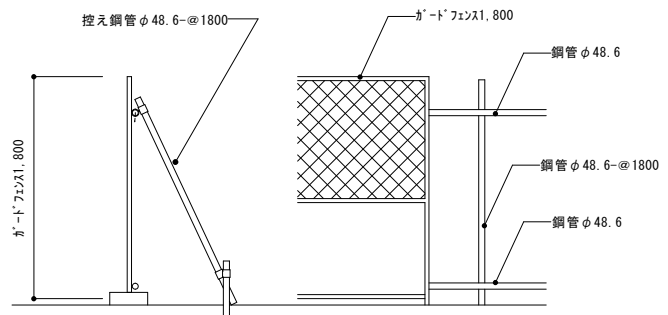


配置図 S=1/500



工事範囲

		 高橋設計 <small>一級建築士事務所</small> <small>一級建築士 第124805号 高橋卓司</small> <small>埼玉県狭山市堀兼764-4</small>		設計日付 承認 設計 製図 	工事名 狭山市立入間野小学校防球ネット設置工事 図面名 案内図、配置図 縮尺 A1: 1/500 (A3: 1/1000)	図面番号 A-07
--	--	--	--	---	---	--------------

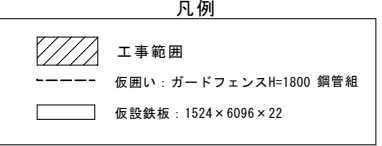
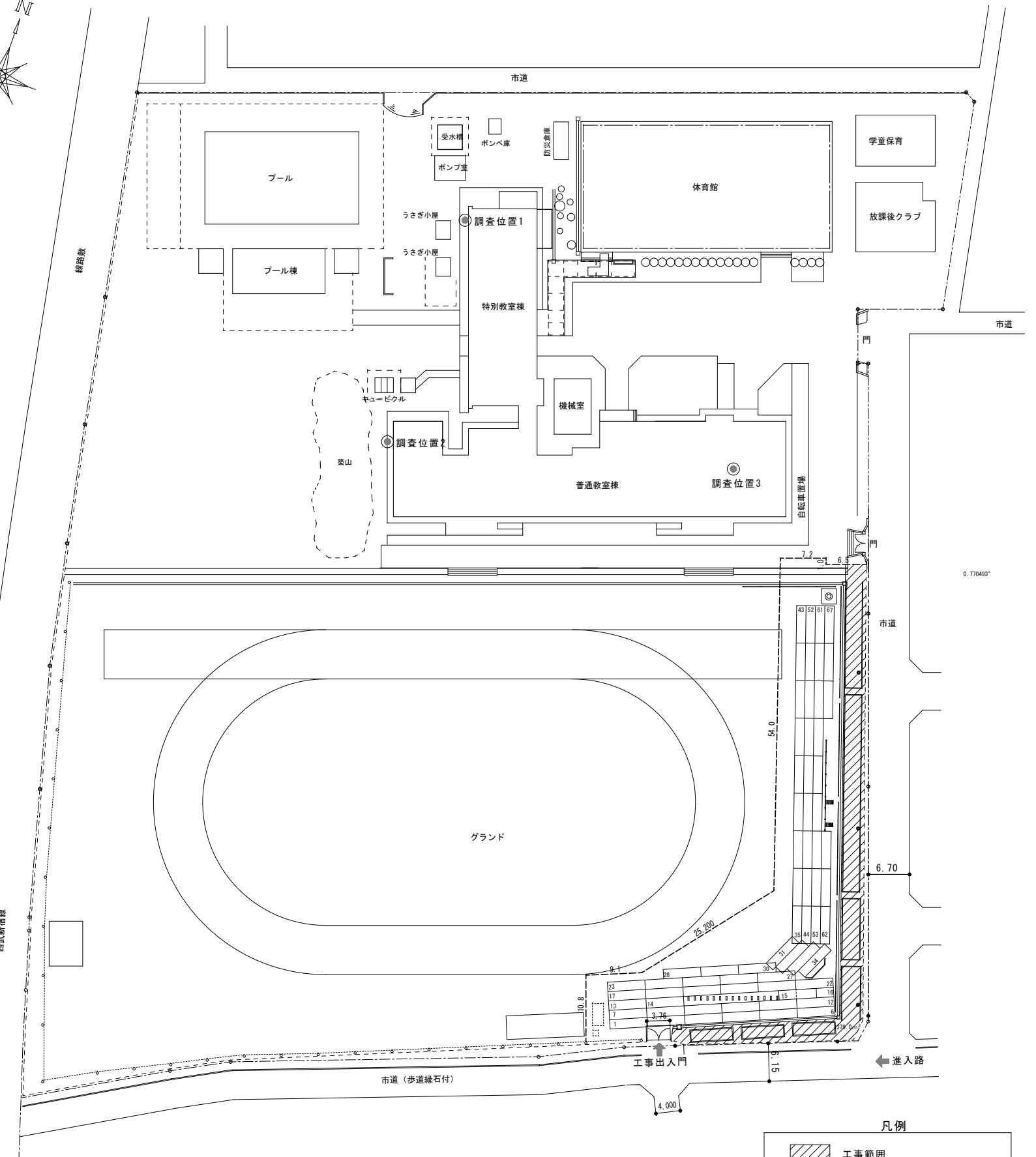
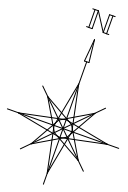


調査地点番号 3

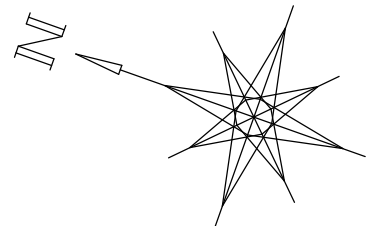
標高	深	層厚	現場観察記録			標準貫入試験						
			土質記号	土質名	色調	記	深さ	打撃回数	10cm貫入打撃回数	N値		
75.87	0.30	0.30	表土	黒灰	黒ボク 重根	混入	1.00	3/33				
74.67	1.50	1.20	ローム (VH2)	暗黄褐	雲母片 炭化物を混入する、上部上部植物根あり。		1.33	2/30				
72.57	3.60	2.10	粘土質ローム (VH2)	暗茶褐	雲母片 炭化物を混入する、含水中位若干粘土性あり。		2.35	2/35				
69.37	6.80	3.20	凝灰質粘土 (OL)	淡黄灰	5.5mから粘性やや大きくなる。炭化物を多く混入		3.00	2/30				
							4.00	3/33				
							4.33	3/33				
							5.00	3/30				
							5.30	3/30				
							6.00	2/32				
							6.32	2/32				
							7.00	46/30				
							7.30	46/30				
							8.00	50/22				
							8.22	50/15				
							9.00	50/15				
							9.15	50/20				
							10.00	50/20				
							10.20	50/20				
							11.00	45/30				
							11.30	50/3				
							12.00	50/3				
							13.00	50/4				
							13.09	50/10				
							14.00	50/10				
							14.10	50/10				
							15.00	50/10				
							15.10	50/10				

土質柱状図

調査地点番号 1
調査地点番号 2

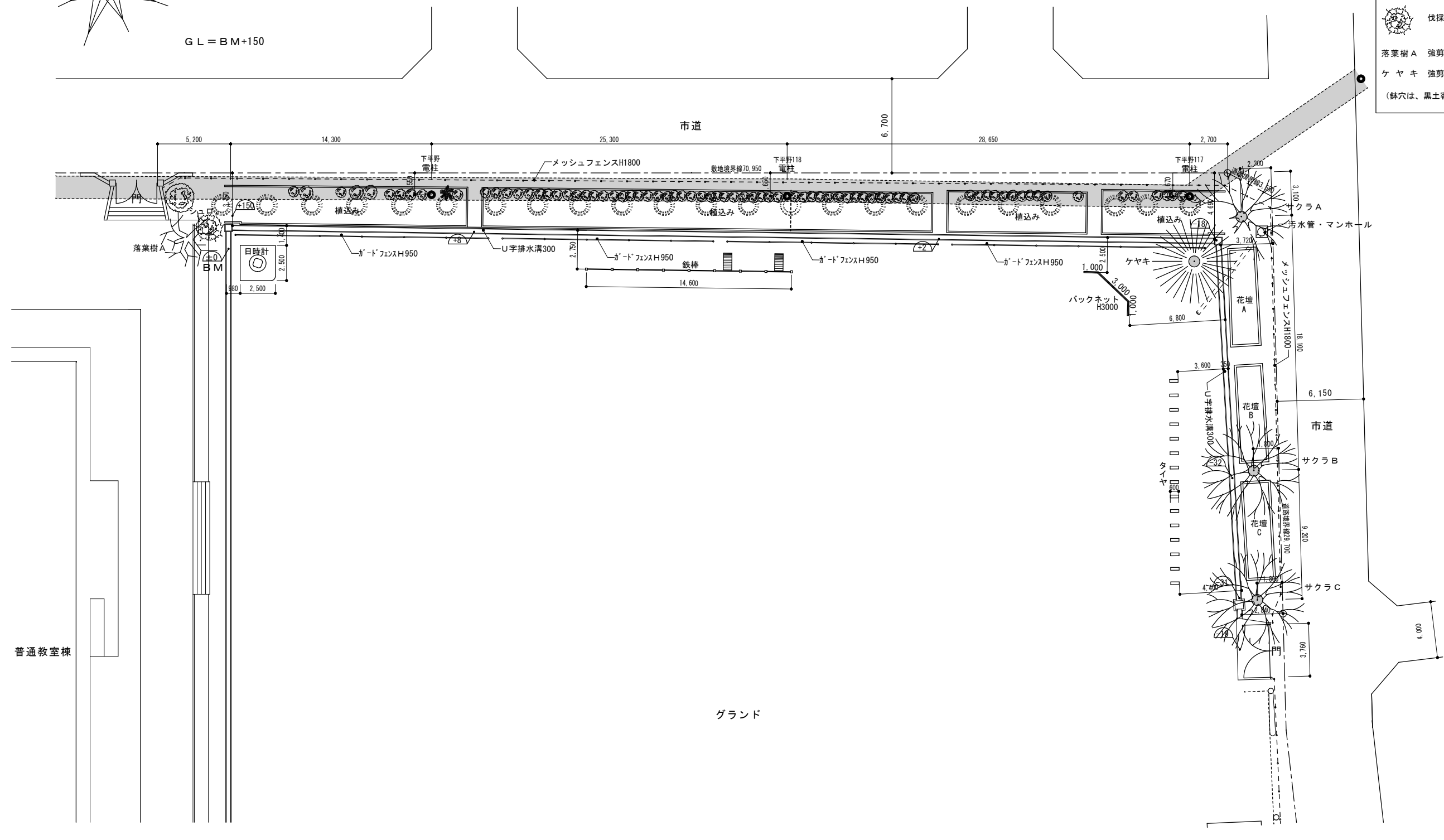


施設名称 入間野小学校
調査地名 狭山市北入間野980番地
調査年月 昭和53年7月
調査態度 15m10

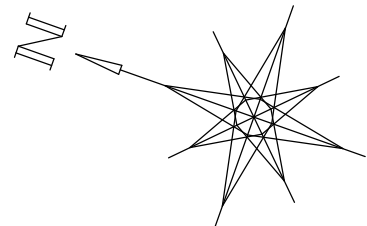


G L = B M + 150

- 凡例・特記
- 電柱・架空高圧電線
(工事影響範囲に電線防護管設置のこと)
 - ⊙ 伐採抜根または枝剪定高木 (カイズガイブキ)
(ポール建柱、ネット設置に支障が出るものに限る)
: 周径700×H4500×W2200
 - ⊙ 伐採抜根高木 (シュロ) × 1本
: 周径600×H7500×W3000
 - 落葉樹 A 強剪定: 幹周150×5枝
 - ケヤキ 強剪定: 幹周600×1枝
(鉢穴は、黒土客土とする。)



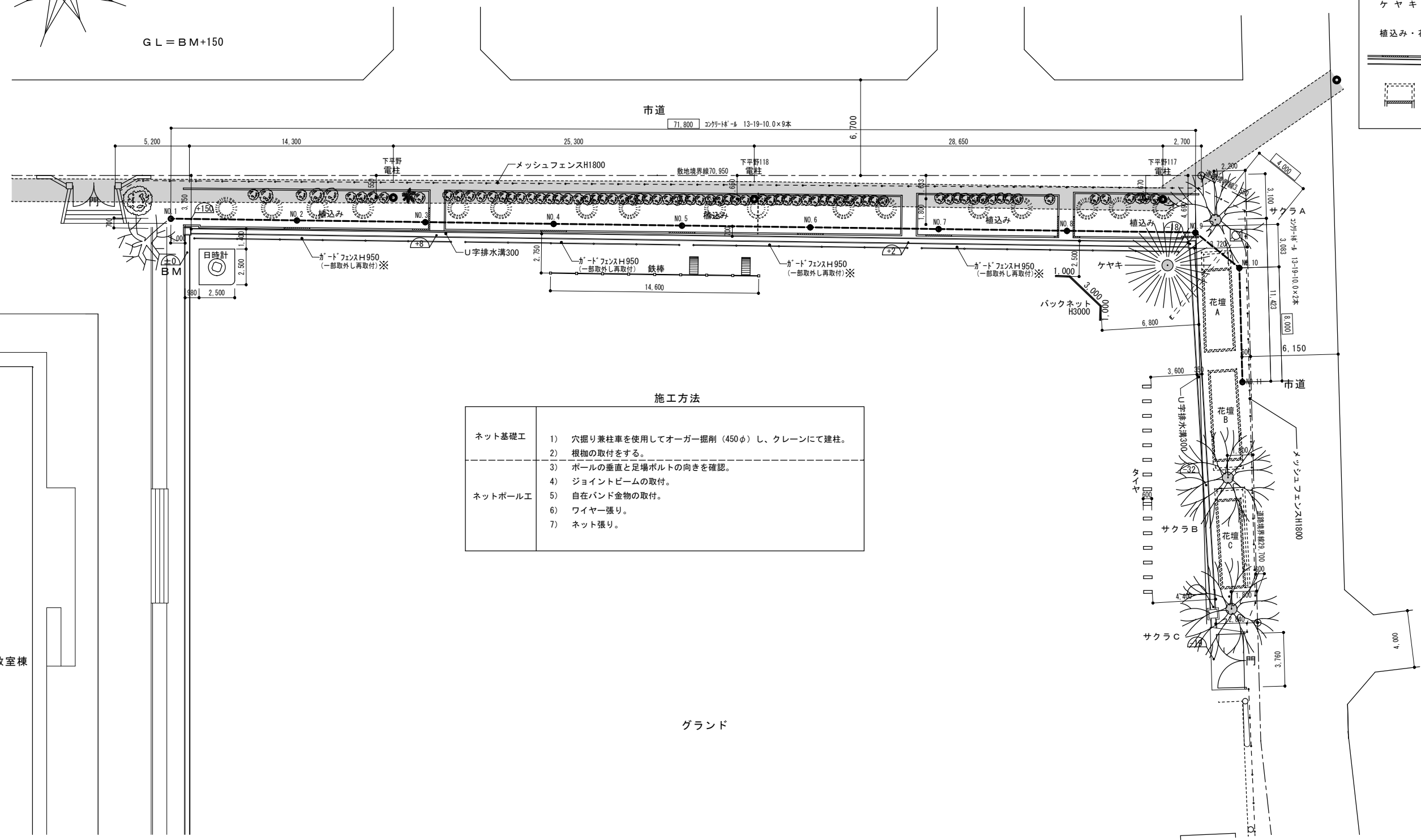
校庭平面図 (工事前) S=1/150



G L = BM+150

凡例・特記

	電柱・架空高圧電線 (工事影響範囲に電線防護管設置のこと)
	防球ネット・コンクリートポール (H=10m) 新設
	ケヤキ 強剪定: 周径500×1枝
	植込み・花壇: 整地
	レンガ緑石: ハッチ部撤去新設
	コンクリート緑石: 破線撤去部ハッチ部新設

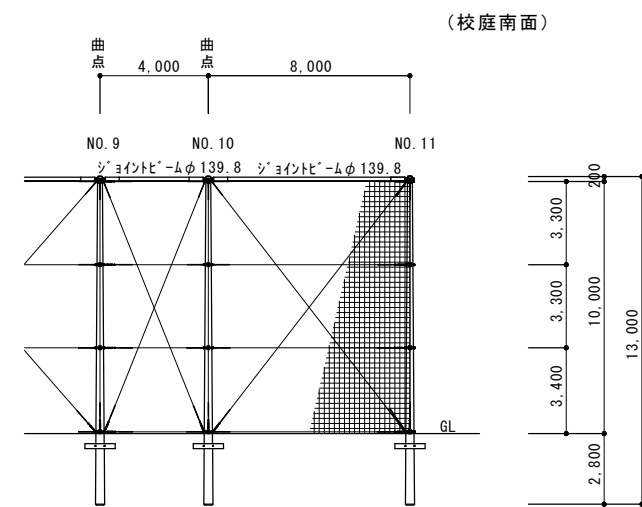
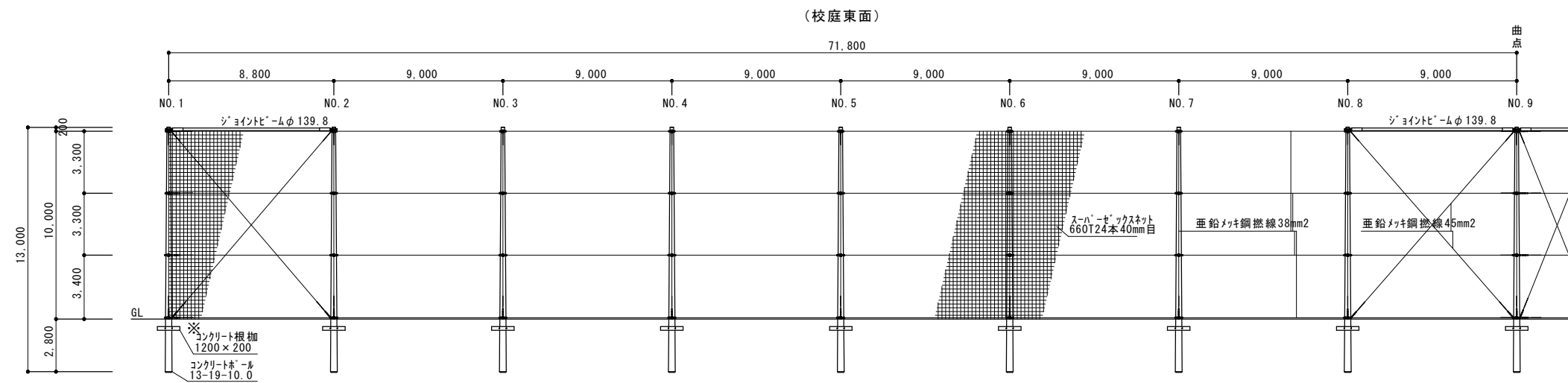


施工方法

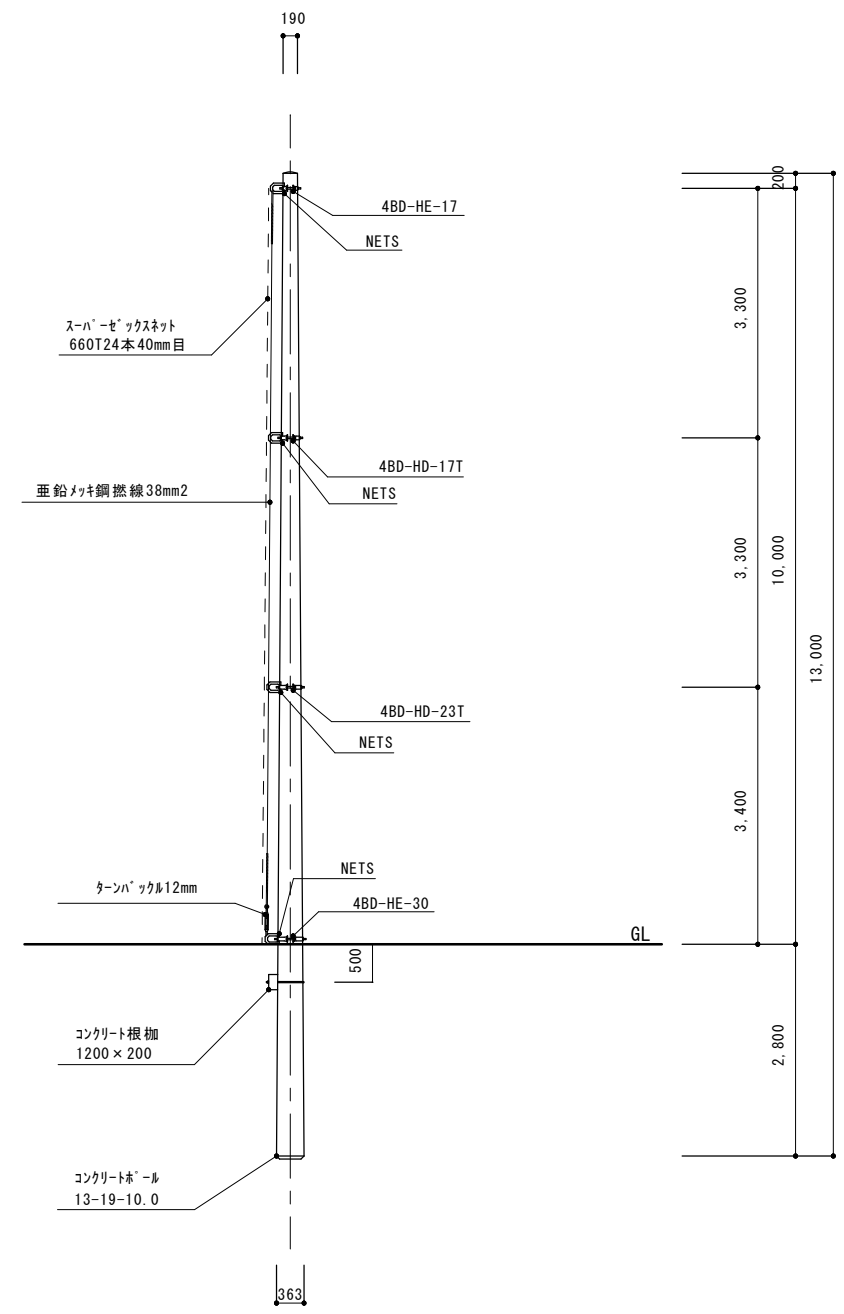
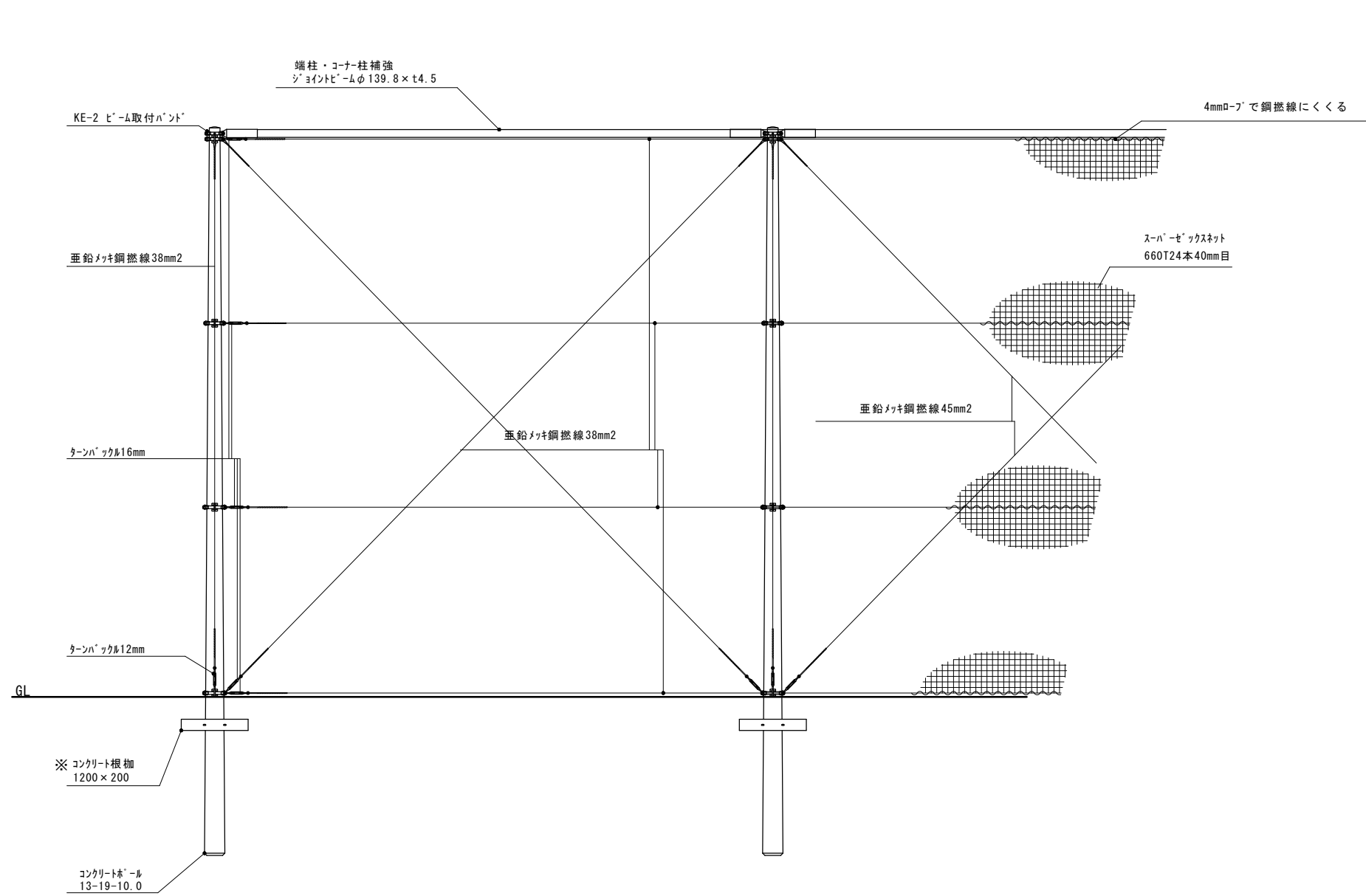
ネット基礎工	<ol style="list-style-type: none"> 1) 穴掘り兼柱車を使用してオーガー掘削(450φ)し、クレーンにて建柱。 2) 根木の取付をする。 3) ポールの垂直と足場ボルトの向きを確認。
ネットポール工	<ol style="list-style-type: none"> 4) ジョイントビームの取付。 5) 自在バンド金物の取付。 6) ワイヤー張り。 7) ネット張り。

グラウンド

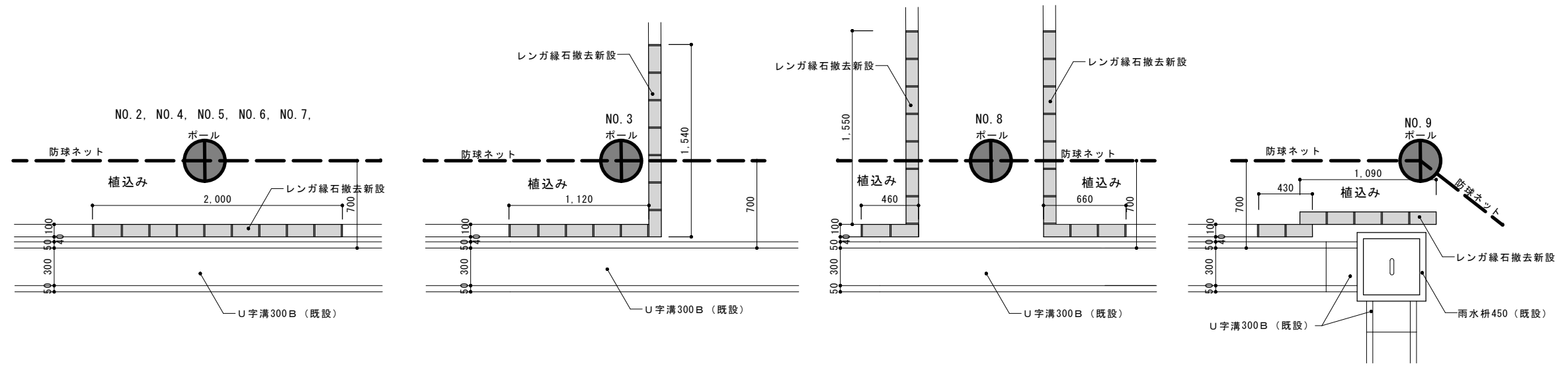
校庭平面図(工事後) S=1/150



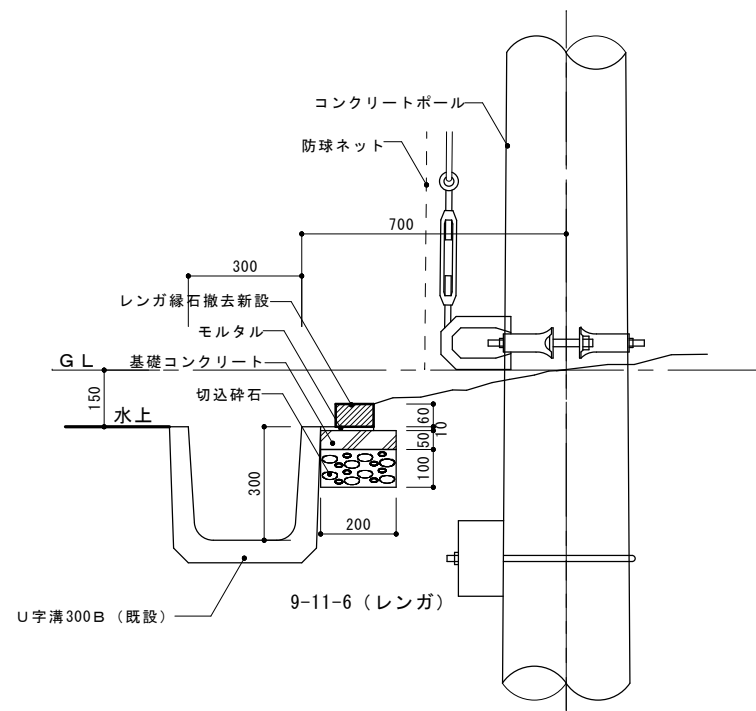
防球ネット立面図 S=1/150



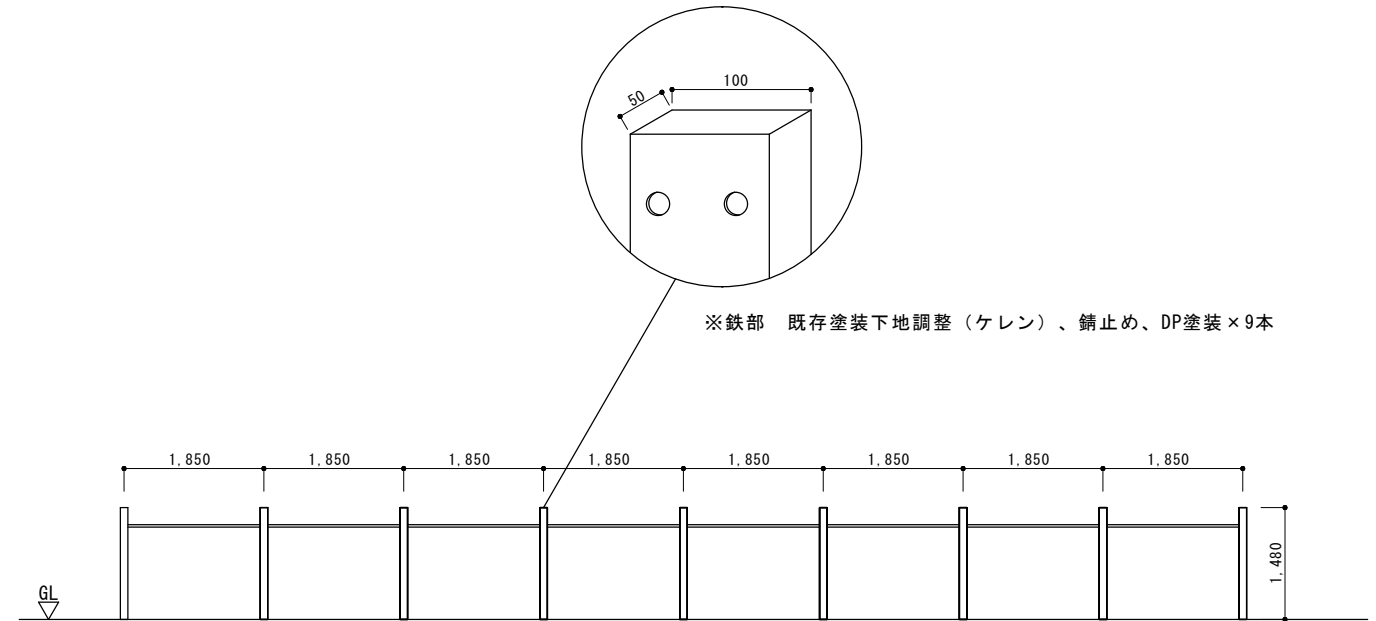
H10m 防球ネット詳細図 S=1/50



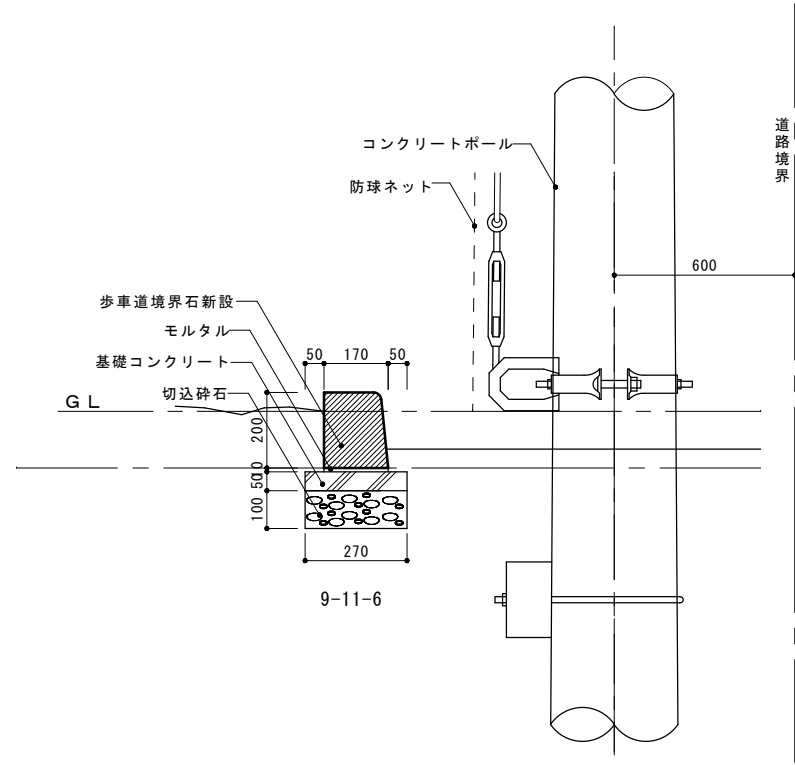
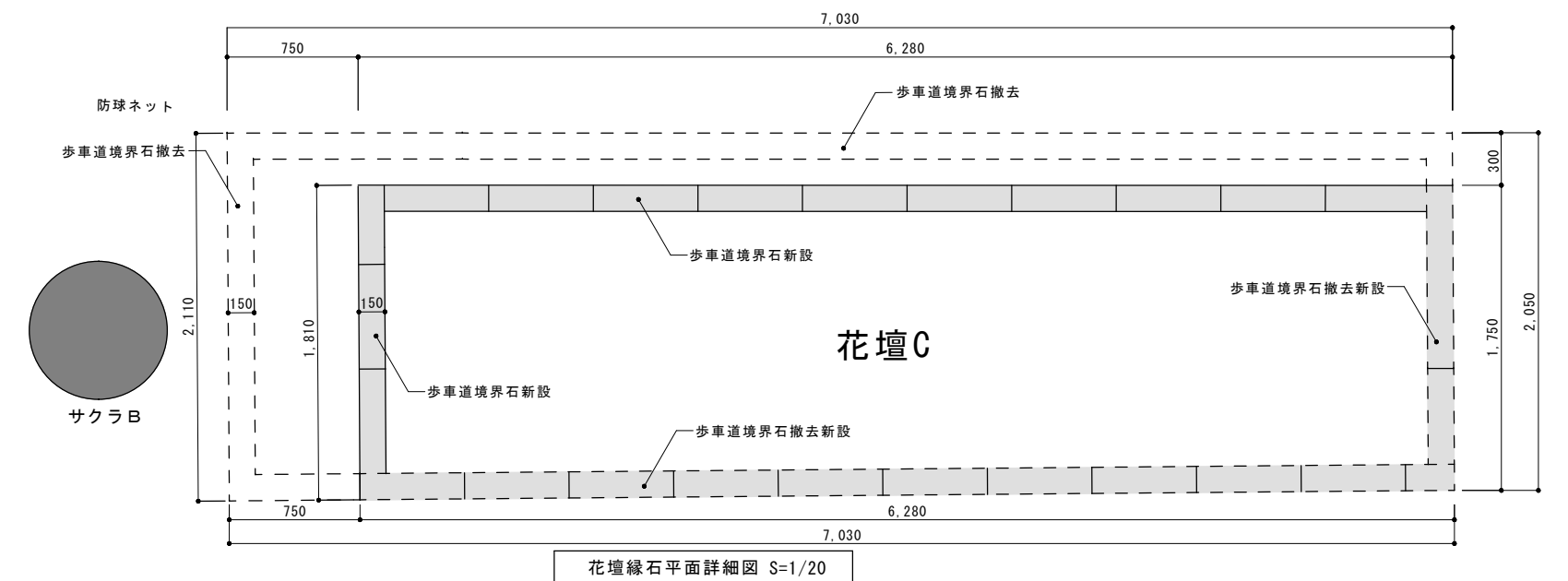
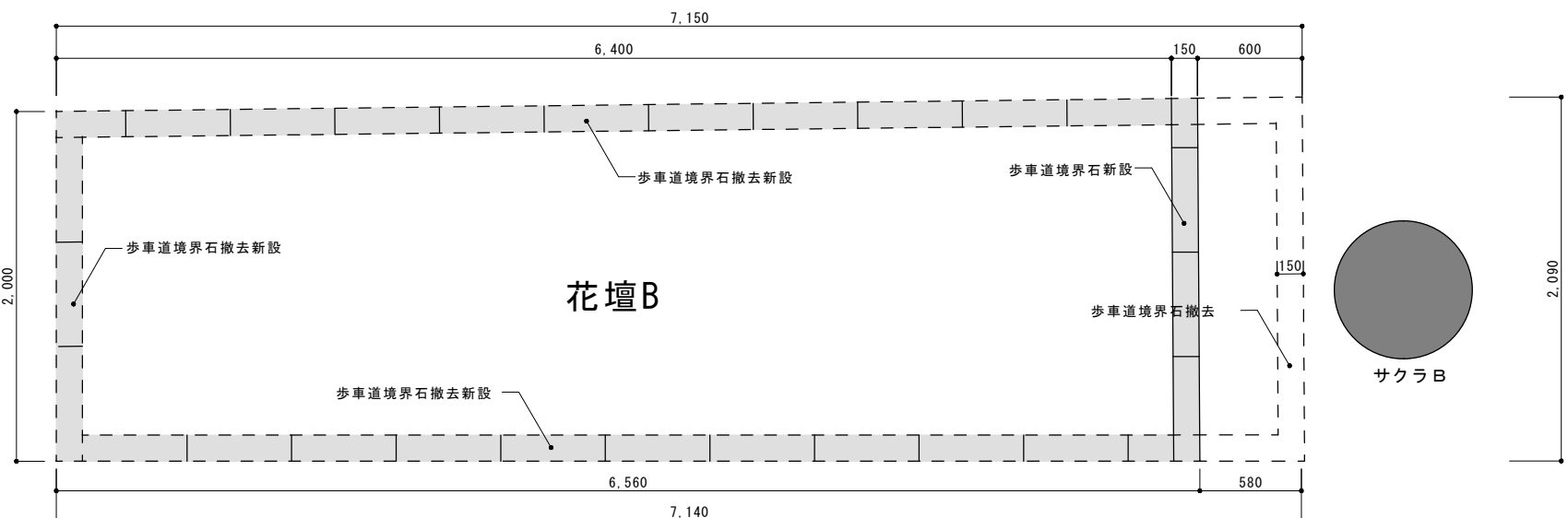
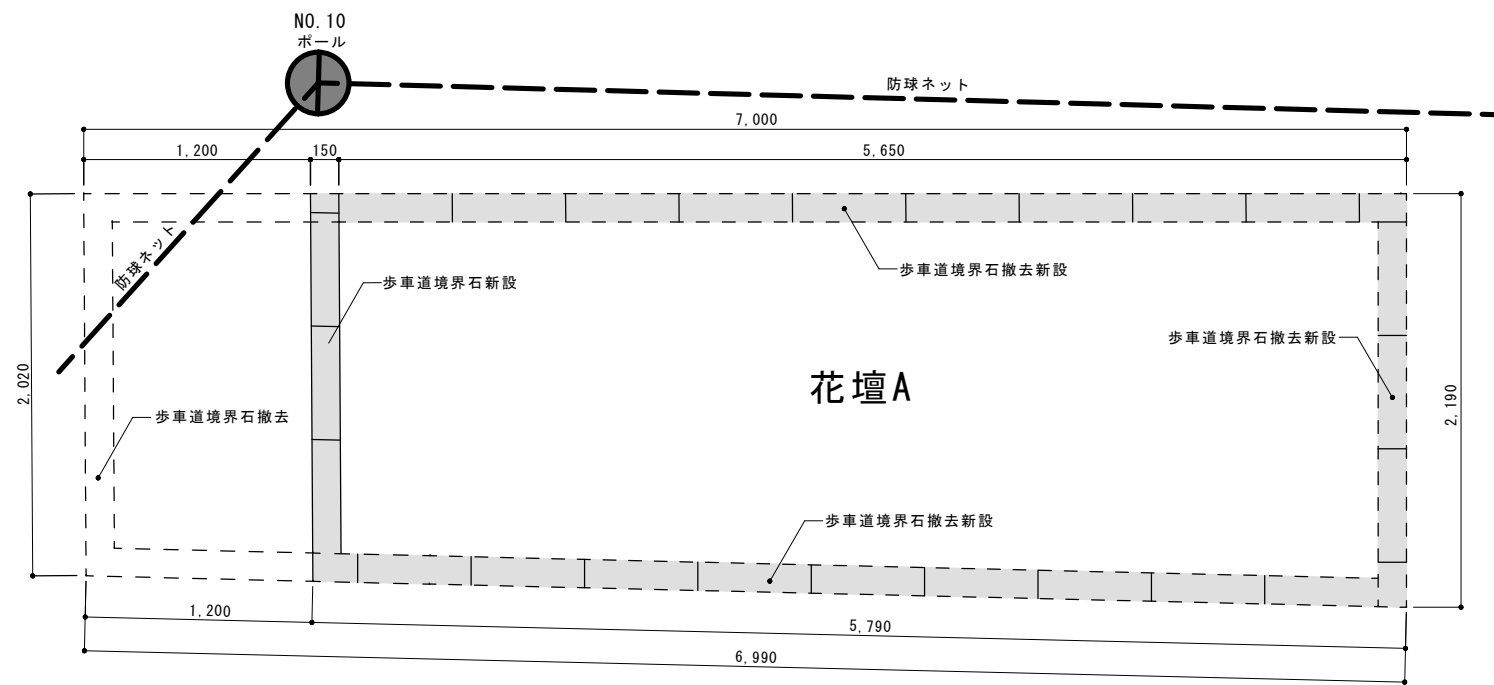
植込み縁石平面詳細図 S=1/20



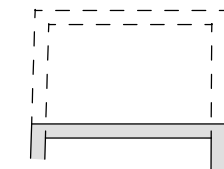
植込み縁石断面詳細図 S=1/10



鉄棒立面詳細図 S=1/50



花壇縁石平面詳細図 S=1/10



・・・コンクリート縁石：破線撤去部・着色部新設

花壇縁石平面詳細図 S=1/20